

西部ガス株式会社と北九州市との カーボンニュートラル実現に向けた連携に関する協定について

1. 熱需要の低・脱炭素化に向けた取組み

- (1) 「カーボンニュートラル LNG」の市内企業への導入を推進
- (2) 「メタネーション」技術の利活用推進 ※ ひびき LNG 基地で実証を検討

※ 「カーボンニュートラル LNG」とは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、植林などの CO2 クレジットで相殺することにより、地球規模では、CO2 が発生しないとみなされる LNG です。

※ 「メタネーション」とは、水素と CO2 から都市ガス原料の主成分であるメタンを合成することを言います。メタネーションにより合成されるメタンは、都市ガス導管等の既存インフラ・既存設備を有効活用でき、社会コストの抑制が可能です。

2. エネルギー使用の最適化

- (1) 市内企業へのエネルギー診断支援
- (2) コージェネシステム導入による太陽光発電等の再生可能エネルギーの普及拡大支援

3. 食品ロス・廃棄物削減の推進

- (1) フードロス削減 EC サイト“ecoto”を活用した食品ロス・廃棄物削減支援
- (2) リデュースクッキング講座の共同開催検討

※ “ecoto”は、食品メーカーや卸売・小売業者が、消費期限間近の商品等を協賛価格で登録し、利用者が購入できる EC(電子商取引)サイトです。

4. 環境エネルギー教育を通じた啓発活動

- (1) 西部ガスホールディングスのサイト「カーボンニュートラボ」に掲載する動画コンテンツ等を提供
- (2) 小学4・5年生を対象とした授業支援パッケージ提供の検討